SuMPO環境ラベルプログラム

プログラム概要

一般社団法人サステナブル経営推進機構

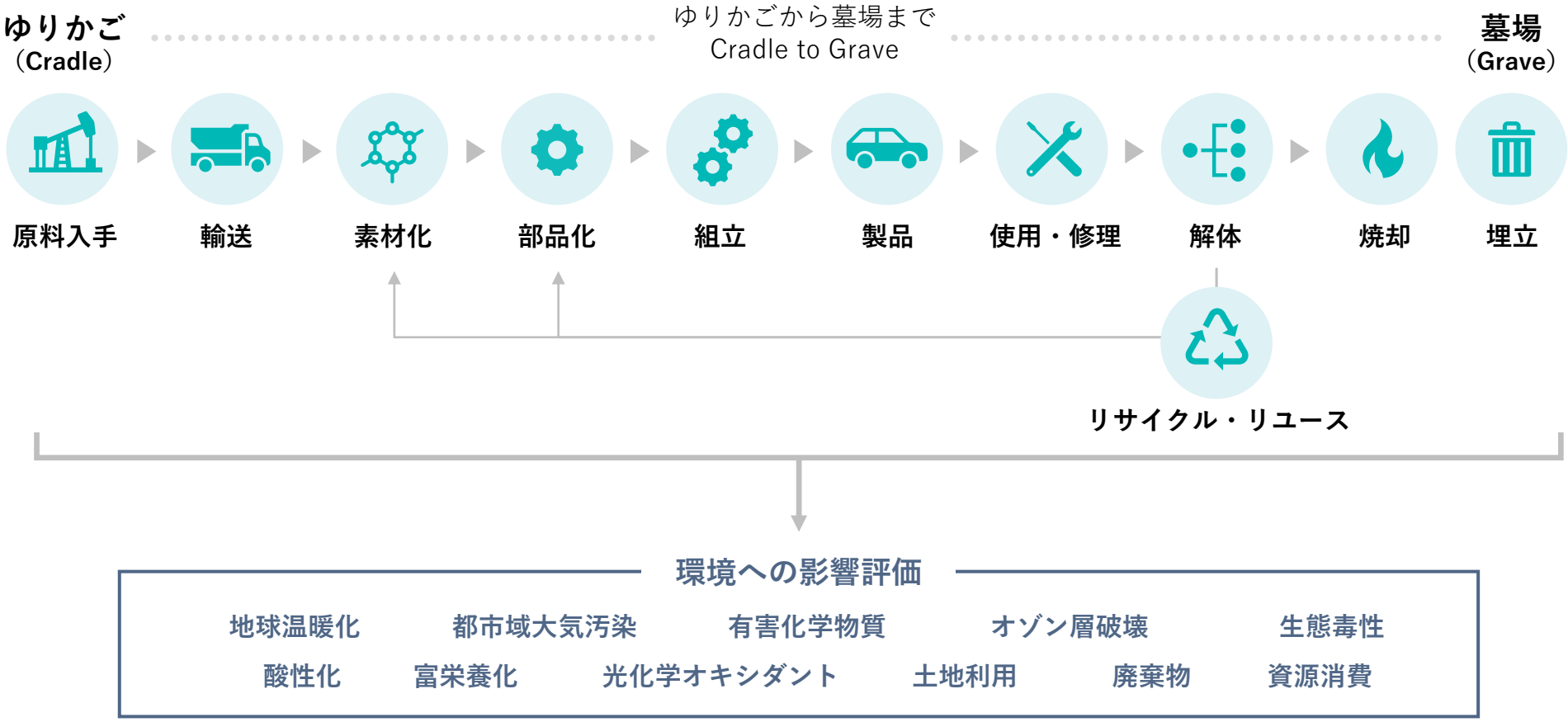
Sustainable Management Promotion Organization

©2022 Copyright. All Rights Reserved. SuMPO

ライフサイクルアセスメントとは？

■ LCA（Life Cycle Assessment）：国際規格（ISO14040及びISO14044）に基づいた環境影響の定量評価手法

製品等のライフサイクル（ゆりかごから墓場まで）における投入資源や環境負荷及び、
それらがもたらす地球や生態系への環境影響を定量的に評価する方法



©2022 Copyright. All Rights Reserved. SuMPO

環境ラベルにできること

■ ライフサイクルアセスメント（LCA: Lifecycle Assessment）に基づく環境情報を信頼性の高い定量情報として開示するツール

LCAに基づく様々な環境情報

©2022 Copyright. All Rights Reserved. SuMPO

3種類に分かれる環境ラベル制度

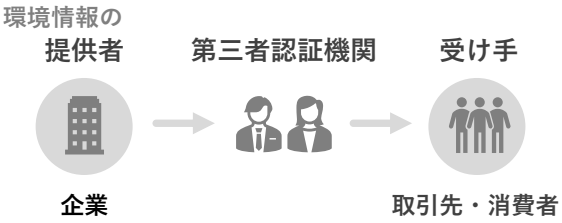
ISOに基づく環境情報開示は、タイプⅠ（ワン）からタイプⅢ（スリー）までの3種類

タイプⅠ 環境ラベル

準拠する国際規格 ISO14024

第三者機関が合否を判定

ある基準に合格していることを証明する



エコマーク（日本）

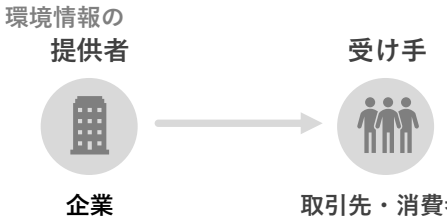
ブルーエンジェル（ドイツ）

タイプⅡ 環境ラベル

準拠する国際規格 ISO14021

第三者によるチェックなし

企業独自の指標に基づき環境に良いことを自己主張する



キヤノン（日本）

日立製作所（日本）

タイプⅢ 環境ラベル

準拠する国際規格 ISO14025

第三者機関がデータを検証

製品の環境情報を定量的に開示する

- LCAに基づく定量評価 -

エコリーフ（日本）

インターナショナルEPD（スウェーデン）

©2022 Copyright. All Rights Reserved. SuMPO

環境情報の定量評価オプション

LCAのISO14040及びISO14044を土台とした定量化オプション

	第三者検証	第三者検証	
	エコリーフ EPD（Environmental Product Declaration）	CFP（カーボンフットプリント）	その他のLCA算定
LCA手法	ISO14040及びISO14044 ライフサイクルアセスメント（LCA）の基本原則・枠組		
算定ルール	ISO/TS14027 製品カテゴリールール（PCR：Product Category Rule）		自由度の高い、目的に応じた独自の算定ルール
追加の国際規格	ISO14025 タイプIII環境ラベル	ISO/TS14067 カーボンフットプリント宣言	-
評価領域	多数の環境領域 地球温暖化、資源消費など多領域	地球温暖化のみ 温室効果ガス排出量	目的に応じて設定
特徴	✓ 国際市場で通用する透明性・信頼性・妥当性の高い定量的な環境情報 ✓ 買い手に分かりやすい環境情報のコミュニケーションツール		環境配慮型製品の開発や自社製品間の比較等、**社内向けの活用**を想定

©2022 Copyright. All Rights Reserved. SuMPO

エコリーフとCFPの評価領域の違い

地球温暖化への影響のみのCFP、多領域のエコリーフ

国や地域によってそれぞれの影響領域の重み（重要度）は異なるものの、
エコリーフでは地球温暖化以外も幅広く評価可能

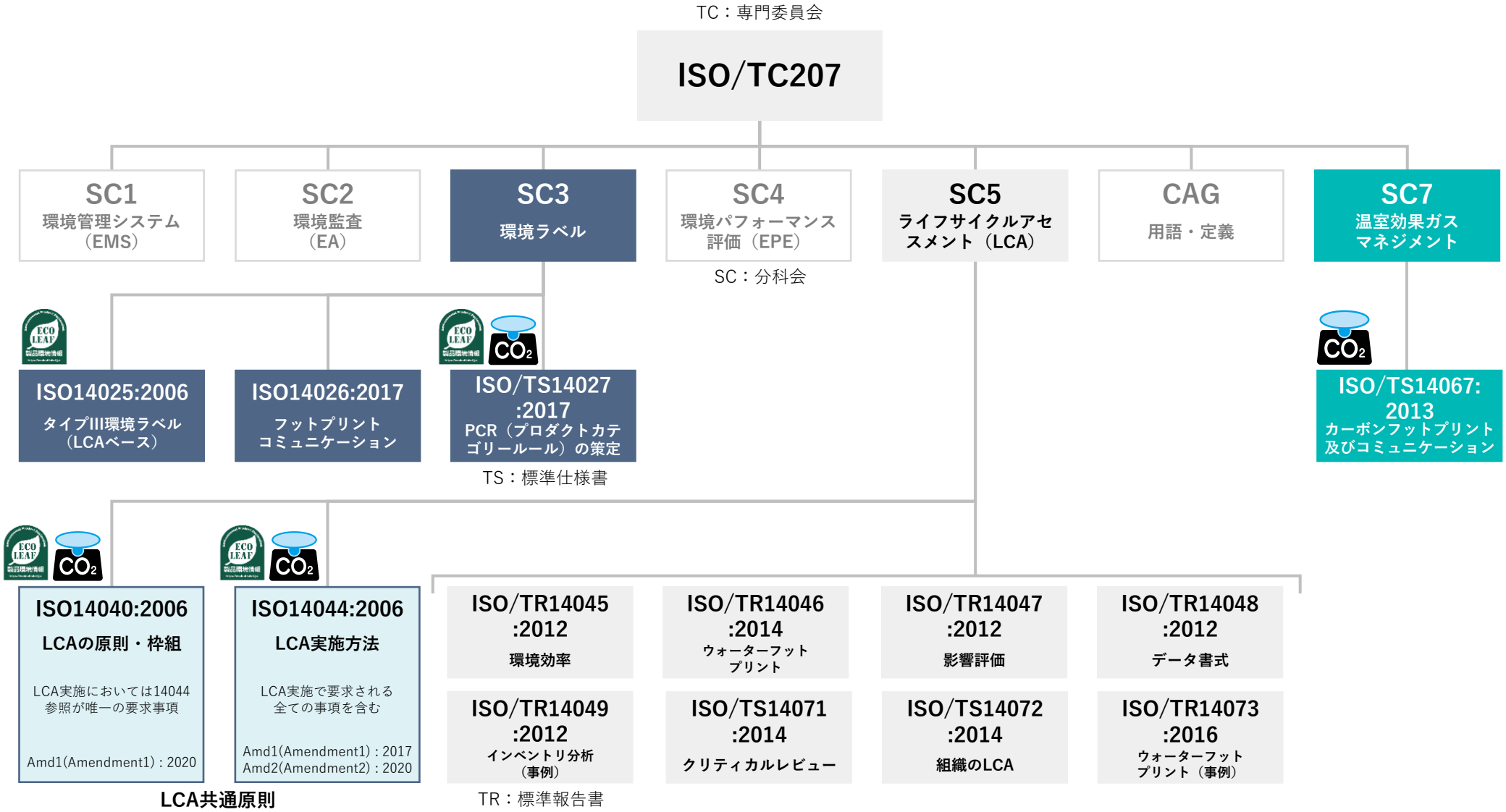
エコリーフの評価対象

カーボンフットプリント
CFPの評価対象

- 地球温暖化
- 都市域大気汚染
- 有害化学物質
- オゾン層破壊
- 生態毒性
- 酸性化
- 富栄養化
- 光化学オキシダント
- 土地利用
- 廃棄物
- 資源消費

©2022 Copyright. All Rights Reserved. SuMPO

ISO14000シリーズにおけるLCAと環境ラベル



©2022 Copyright. All Rights Reserved. SuMPO

SuMPO環境ラベルプログラムの概要

■ 国際規格（ISO）に基づき、信頼性・透明性を担保したプログラム運営

プログラムの目的

事業者に対して

製品やサービスの環境負荷を見える化し、
事業者・消費者・投資家等との環境情報の
コミュニケーションを促進させ、企業活動による環境
負荷の低減や企業の社会的責任の遂行に寄与する

消費者に対して

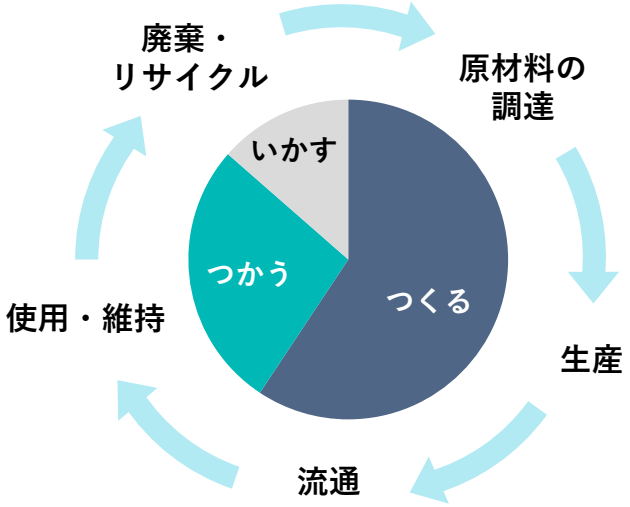
環境情報を分かりやすく社会に普及させる
ことで消費者のライフスタイルの変革を促し、
個々人の日々の生活や消費行動がもたらす
環境負荷の低減に貢献する

- ✓ 製品のライフサイクル全体にわたる定量的環境情報をLCA手法で見える化

  $kg\text{-}CO_2eq$　$kg\text{-}SO_2eq$　$kg\text{-}C_2H_4eq$ etc.

- ✓ 「見える化」された環境情報を用いた、情報の提供者と利用者の間での正しい環境情報のコミュニケーションを促進

- ✓ 環境負荷低減のための相互理解と、削減行動を促進



ライフサイクルアセスメント		タイプIII環境ラベル	PCR（プロダクトカテゴリールール）の策定	カーボンフットプリント及びコミュニケーション
ISO14040:2006	ISO14044:2006	ISO14025:2006	ISO/TS14027:2013	ISO/TS14067:2013

©2022 Copyright. All Rights Reserved. SuMPO

登録公開数

2023年3月31日現在

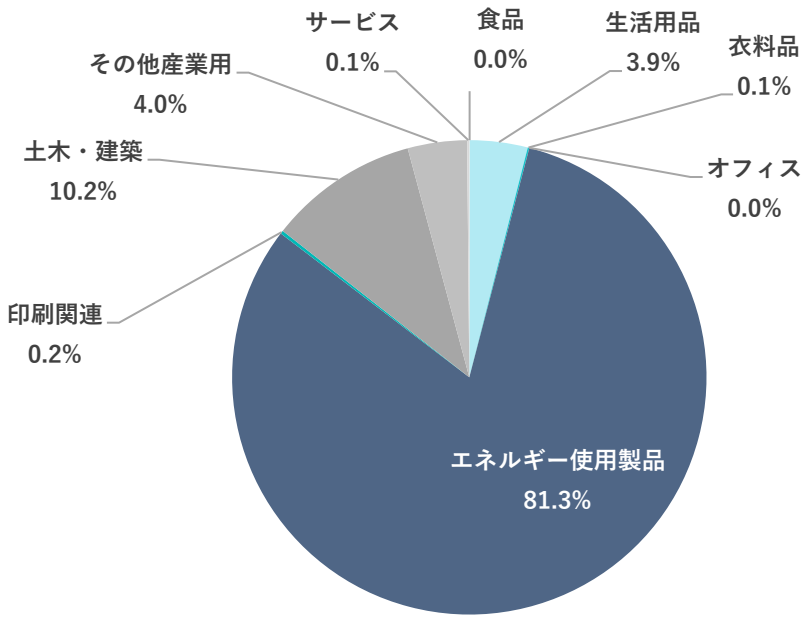
認定PCR：50製品カテゴリー

PCR（Product Category Rule）：製品カテゴリールール

従来プログラムにおけるPCR数：86件（エコリーフ）/107件（CFP）

公開中宣言数：1,501件

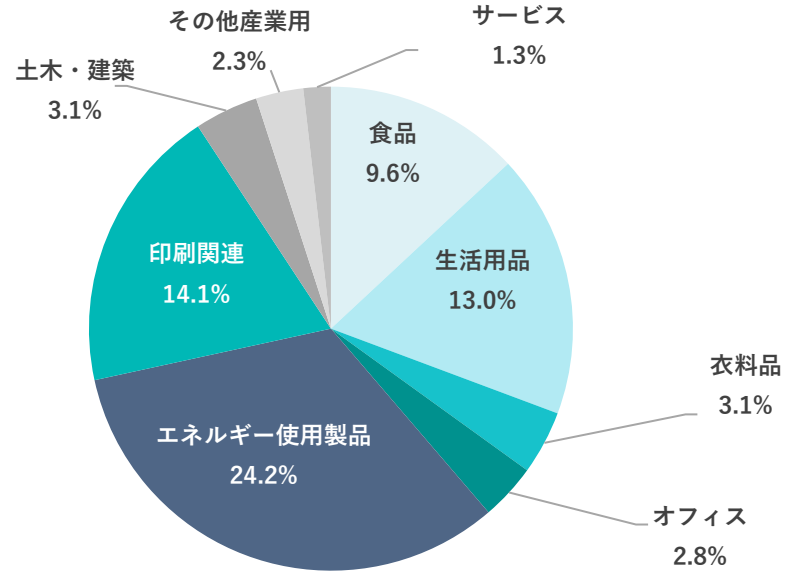
累積登録公開数：2,748件



公開企業数累計：112社*

公開中宣言数：891件

累積登録公開数：2,020件



公開企業数累計：223社*

*公開企業数累計（エコリーフ・CFP合計）：335社

©2022 Copyright. All Rights Reserved. SuMPO

宣言公開までの4ステップ

■ プログラムの算定ルールに基づくLCA算定の後、検証に合格して公開となる

1 PCRを見つける／作る

PCR: Product Category Rule
製品カテゴリールール

算定を始める前に、まずは
製品種ごとの基本ルールを準備

2 LCA算定をする

申請事業者が算定を実施

社内にLCA算定経験者がいない
場合は外部コンサル等を活用

3 検証を受ける

第三者検証員による検証

プログラムに登録された第三者
検証員及びレビューパネルが
算定結果を検証

4 公開する

プログラムウェブサイトへの公開

情報公開と共に、検証済みの
環境情報とマークを企業活動に
使用することが可能となる

PCRの選定

宣言を公開したい製品に該当する
PCRをプログラムウェブサイトで探す
https://ecoleaf-label.jp/pcr/pcr_list.php

PCRの策定

該当するPCRが未だない場合は
新たに作成

PCRに基づいた
算定

PCRに則り、プログラムが提供する
算定ツールを用いて算定を実施

＋

宣言案の作成

算定結果等を記載する
宣言シートの案を作成

第三者による
検証

検証員から修正等の指摘があった場合
には、再度算定を実施した後再検証

宣言の公開

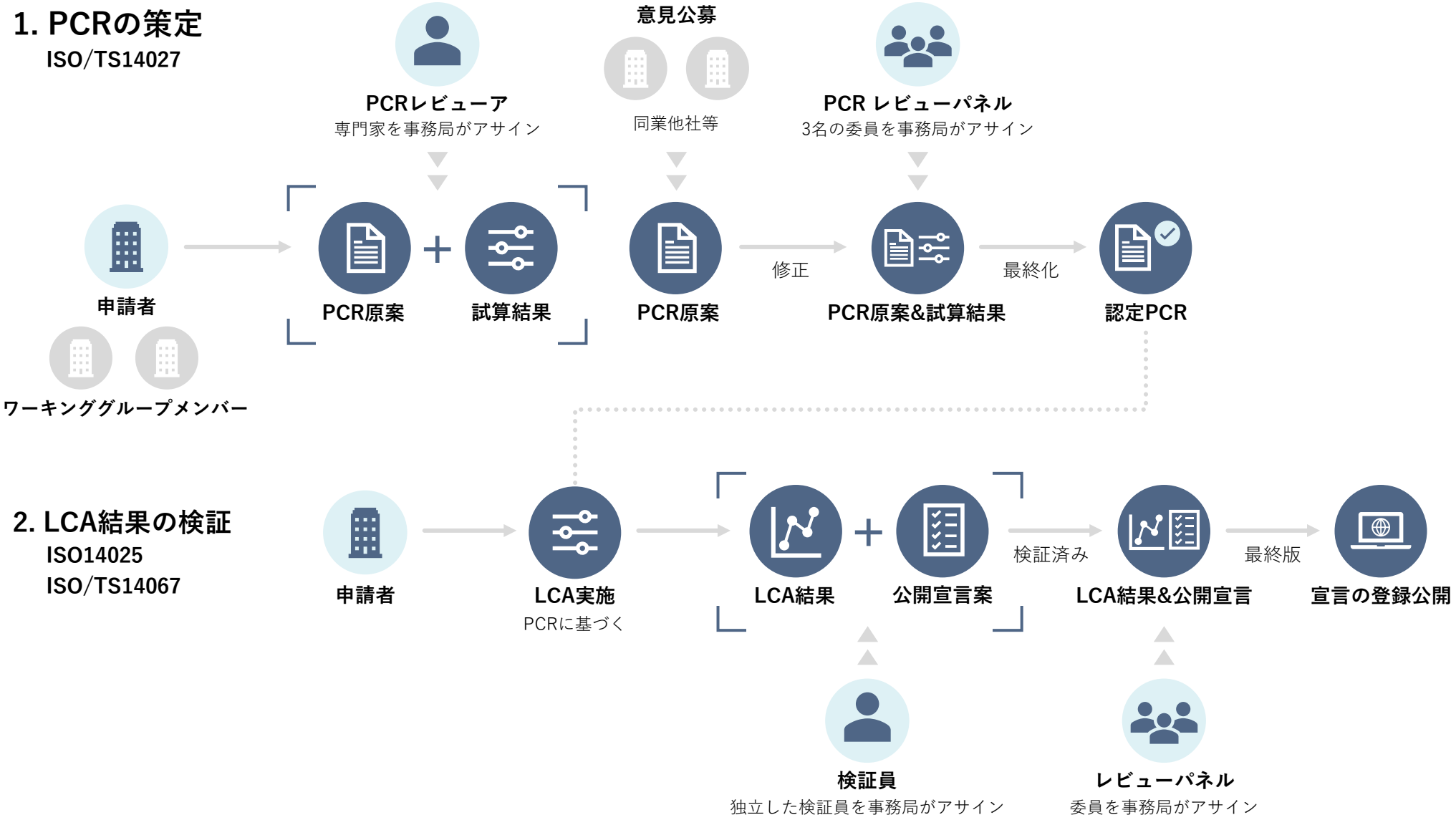
検証に合格後、
登録公開申請をして公開

プログラムウェブサイト
https://ecoleaf-label.jp/declaration_list/

©2022 Copyright. All Rights Reserved. SuMPO

PCRの策定から公開までの詳細検証フロー

ISOに基づく透明性の高いルールメイク＆LCA検証システム

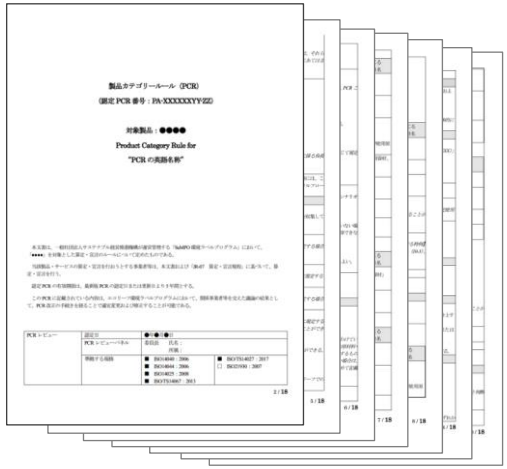


©2022 Copyright. All Rights Reserved. SuMPO

PCR（Product Category Rule）とは？

■ 製品種類ごとに定められたLCA算定ルールと宣言に関する決め事

複数の組織から成るワーキンググループでの原案作成に加え、
意見公募やレビューパネルを経て策定される



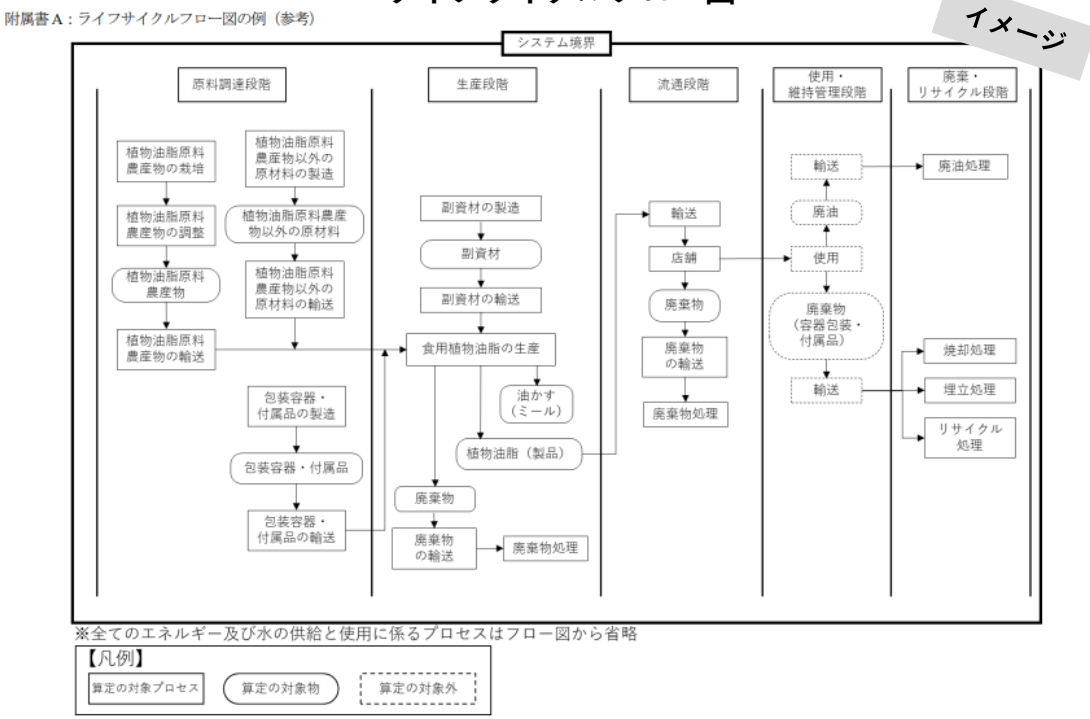
- **PCRを使うことができる製品の定義**
  「PCR記載された製品のみが対象」等
- **算定の際の算定単位**
  「製品1台あたり」「製品1kgあたり」「製品1mあたり」等
- **算定に含める評価範囲**
  「算定対象は原材料調達から製造、流通、使用、廃棄まで」等
- **対象とすべき環境影響**
- **データ収集が必要な項目**
  「製造段階では○○と○○の一次データが必須」等
- **データ収集が困難なときの対処法**
  「海外での輸送距離が不明な場合は○○kmとして計算」等
- **宣言に書かなければいけない記載必須事項**
  「有害物質を合わせて記載しなくてはならない」等

etc.

既存PCR一覧
https://ecoleaf-label.jp/pcr/pcr_list.php

PCRに記載される
ライフサイクルフロー図

イメージ



©2022 Copyright. All Rights Reserved. SuMPO

エコリーフ／CFP活用事例

■ 取引先、投資家、消費者との環境情報コミュニケーション

製品ウェブサイト掲載

プレスリリース

製品へのマーク貼付

営業資料

CSRレポート
サステナビリティレポート

キヤノン株式会社様

株式会社日立製作所様

日本製鉄株式会社様

株式会社J-オイルミルズ様

株式会社安藤・間様

日本ハム株式会社様

生活協同組合連合会様

富士特殊紙業株式会社様

日本製鉄株式会社様

株式会社J-オイルミルズ様

取引先、投資家、消費者等のステークホルダーに向けて環境情報を開示し、差別化・ブランディング・信頼強化等に活用

©2022 Copyright. All Rights Reserved. SuMPO

ライフサイクルの環境負荷見える化に活用

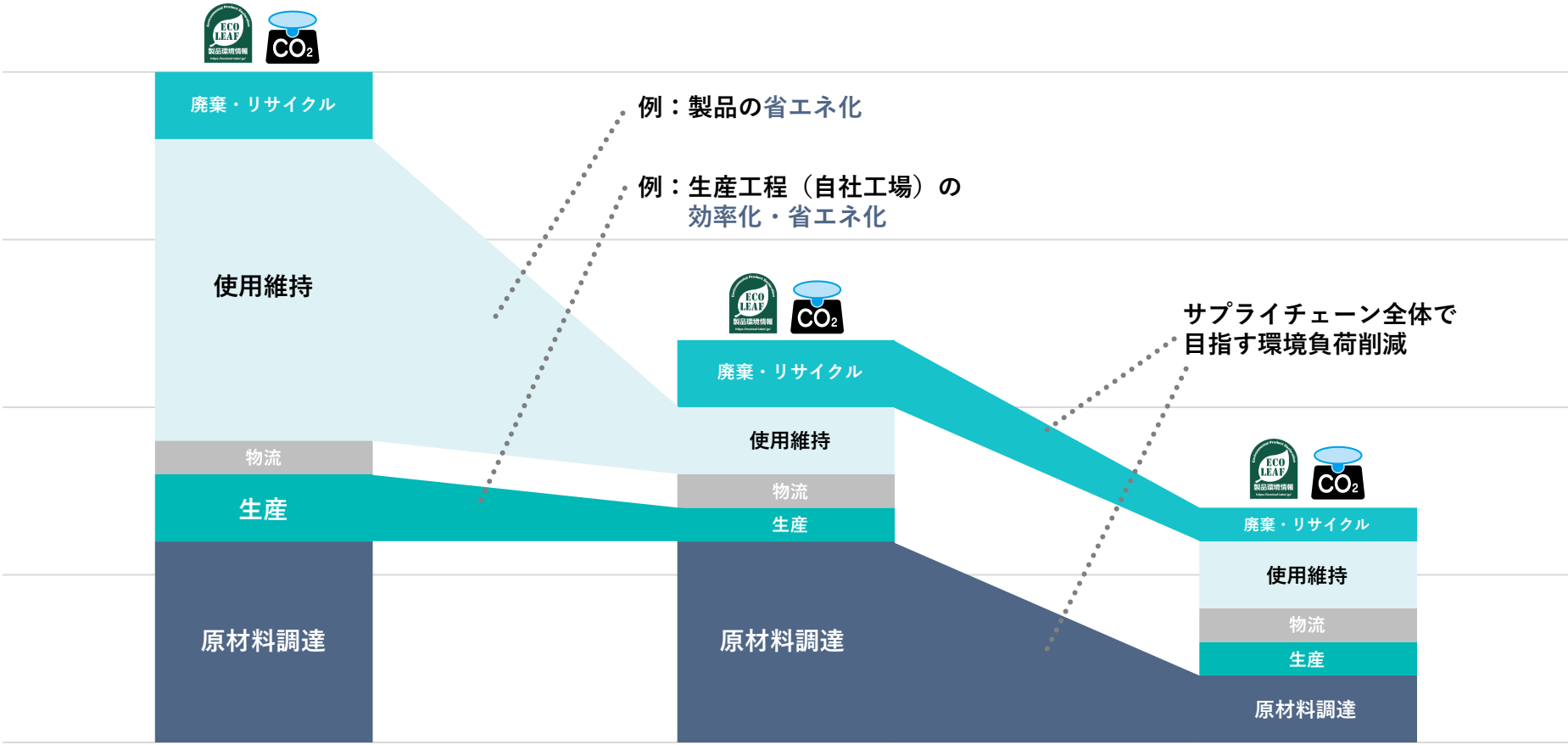
■ 製品設計や目標設定の指標にもなるライフサイクル環境定量評価

環境負荷を知る ▶▶▶ **削減に取り組む** ▶▶▶ **更なる削減努力**

「どこをどうすれば環境負荷を減らせるか」が明確に可視化できる

削減努力の結果を客観的に評価し、対外的にも自社努力を示すことができる

サプライチェーン全体を巻き込んだライフサイクルでの環境負荷低減



©2022 Copyright. All Rights Reserved. SuMPO

削減努力の見える化事例

■ 自社製品同士の比較に基づく削減量（率）の表示が可能

株式会社J-オイルミルズ様

「長調得徳」キャノーラ油
（業務用食用なたね油）

①CFP算定結果
算定単位： 製品1個（18L缶）あたり

項目		数値	単位
CFP算定結果		64	kg-CO_2eq
内訳	①原材料調達	52	kg-CO_2eq
	②生産	4.7	kg-CO_2eq
	③流通	2.9	kg-CO_2eq
	④使用・維持管理	0	kg-CO_2eq
	⑤廃棄・リサイクル		kg-CO_2eq
CFPマークへの表示		自社比-20%	
表示単位：		従来のキャノーラ油と比較した際の、モデル店舗における1年間の使用量あたりのCO2排出削減率	

※端数処理により、CFP算定結果と内訳の合計値は若干異なる場合があります。

20%削減

株式会社日立製作所様

Hitachi Virtual Storage
Platform 5100H

3. CFP算定結果およびCFP宣言の内容

3.1	CFP算定結果（カーボンフットプリント）	280,000	kg-CO_2e（端数処理により左記の値は内訳の合計値と若干異なる場合があります）
3.2	内訳（ライフサイクル段階別、プロセス別、フロー別、等）		
	原材料調達段階	11,000	kg-CO_2e
	生産段階	3,200	kg-CO_2e
	流通段階	250	kg-CO_2e
	使用・維持管理段階	260,000	kg-CO_2e
	廃棄・リサイクル段階	180	kg-CO_2e

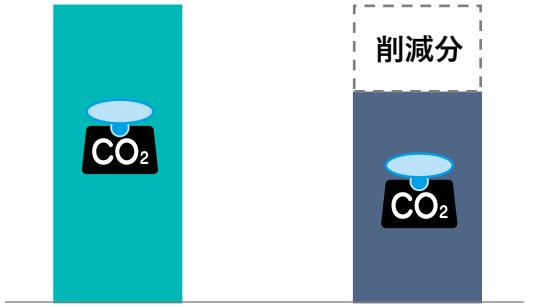
数値表示、追加情報の内容		
	<記載内容>	<数値表示の単位>
数値表示	10kg	1TB・1年あたり（端数処理により左記の値は「3.1 CFP算定結果」と若干異なる場合があります）
	自社比 -45 %	従来機種と比較した際の、1TB・1年あたり のCO_2排出量の削減率

45%削減

下記条件を満たすことで、削減量（率）を用いたコミュニケーションが可能

- 同一業者の製品間比較であり、
- 機能単位が全く同じかつ機能が同等で、
- 同一のPCRを用いて算定が実施され、
- データ収集方法が同等で、
- 評価対象及び比較対象どちらも検証を受けた数値であり、
- 比較自体も検証を受け、
- 比較条件や差異の解説等が明記されている

※詳細：JR-07 算定宣言規程 https://ecoleaf-label.jp/regulation/#JR-07



過去時点での数値
従来品の数値
etc.

現在の数値
最新版の数値
etc.

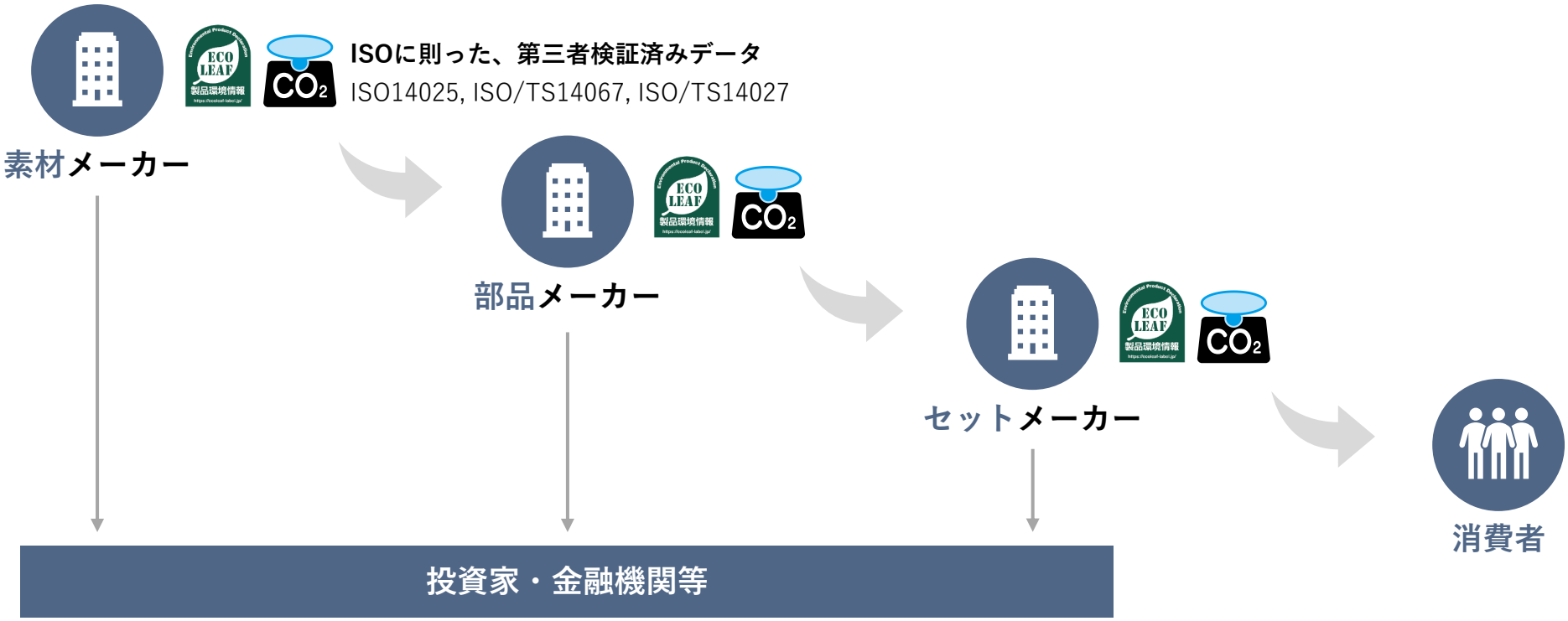
©2022 Copyright. All Rights Reserved. SuMPO

SCコミュニケーションへの活用

■ サプライチェーン（SC）のどの段階においても重要な、透明性の高い環境定量情報

エコリーフ／CFPを取得することで...

- ✓ 素材メーカーは、部品メーカーに自社製品の環境面をアピール
- ✓ 部品メーカーは、セットメーカーに自社製品の環境面をアピール
- ✓ セットメーカーは、エコリーフ／CFPを取得した素材・部材等を使用することで、消費者に対して環境面をアピール
- ✓ 各社は、サプライチェーンマネジメントを通じた環境への取り組みを、投資家等に対して情報開示



©2022 Copyright. All Rights Reserved. SuMPO

海外認証制度との連携①：EPEAT

イーピート
EPEAT Electronic Product Environmental Assessment Tool

電子・電気製品の環境総合評価システム

- 米国オレゴン州ポートランドの非営利組織The Global Electronics Council (GEC)が運営
- 必須と任意の項目を満たした数により、製品が金・銀・銅でランクされ登録される
- 2016年秋から有効になった大統領命令（E.O.13693）の電子製品調達基準を満たせるのは現時点ではEPEAT登録製品のみ
  - ▶ 米国の連邦官庁は電子・電気製品を調達する際（EPEATで基準が作られた製品カテゴリーがある場合）EPEATで評価・登録された製品を選択しなくてはならない

3段階のEPEAT評価ランク

※規程内容は製品分野により異なる

ゴールド	シルバー	ブロンズ
✓ 必須基準全て	✓ 必須基準全て	✓ 必須基準のみ
✓ 任意基準75%以上	✓ 任意基準50%以上	

Imaging equipment
（印刷複合機を含む）
必須基準：23項目
任意基準：8分野28項目

ECO LEAF 製品環境情報 **＋3ポイント**　CO_2 **＋2ポイント**

SuMPO環境ラベルプログラムの
エコリーフ／CFP宣言が**加点対象**

EPEAT登録可能製品カテゴリー

Computers and displays
desktops, laptops/notebooks, workstations, thin clients, displays (computer monitors)
Imaging equipment
printers, copiers, scanners, multifunction devices, fax machines, digital duplicators and mailing machines
Televisions
Server
Photovoltaic Modules
Mobile devices

©2022 Copyright. All Rights Reserved. SuMPO

海外認証制度との連携②：LEED

リード
LEED　Leadership in Energy & Environmental Design

建築物の環境性能に係る第三者認証制度

- 米国グリーンビルディング協会（U.S.　Green Building Council）が運営
- 2016年11月から適用されているv4においてLCA及びEPDが加点対象
- ライフサイクルの考えが基準に導入され、建材の環境情報の明示がクレジットの加点対象

LEEDが提供する5つの認証システム

多様なプロジェクトに対応

クレジットでのポイント加点

カテゴリごとに設けられた基準を満たすことでポイントを獲得

SuMPO環境ラベルが関係するカテゴリ

Materials and Resources
（材料と資源）

品目ベースで5社以上&20品目
以上のEPD取得でポイント

SuMPO環境ラベルプログラムの
エコリーフ宣言（EPD）が**加点対象**

4段階の認証レベル

プロジェクトが獲得したポイント数に
応じて認証レベルを決定

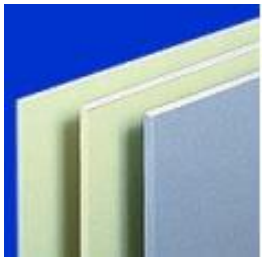
©2022 Copyright. All Rights Reserved. SuMPO

LEED対象製品のエコリーフ宣言公開事例

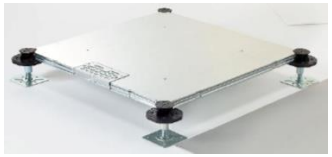
2021.07.15時点
15社, 62製品

大日本塗料（株）
パウダーフロンSELA

AGCコーテック（株）
水性フッ素樹脂塗料『ボンフロン』



吉野石膏（株）
シージングせっこうボード
(GB-S)ほか、計6製品

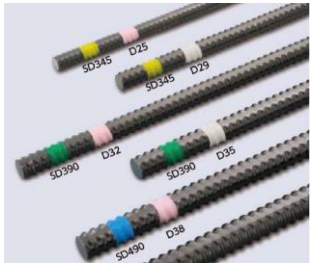


センクシア（株）
ウッドコアスチールフロア
WSA500Nほか、計2製品

（株）LIXIL
プローゼシーガルステップ
ほか、計2製品

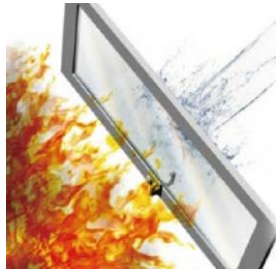
東芝エレベータ（株）
機械室無しタイプ
エレベーター(SPACEL-GRⅡ)

川島織物セルコン（株）
タイルカーペットアートバンク
カット&ループほか、計18製品



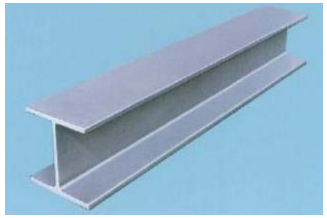
東京鉄鋼（株）
ネジテツコン

YKK AP（株）
ビル用アルミ形材/ 樹脂型材



日本電気硝子（株）
ファイアライトほか、計2製品

（株）デコス
デコスファイバー



日本製鉄（株）
H型鋼杭ほか、計10製品

中本造林（株）
建築用内外装部材焼杉/浮造ほか、
計3製品

ヤマトスチール（株）
H型鋼・H型鋼ぐいほか、計6製品

トピー工業（株）
H型鋼ほか、計6製品

©2022 Copyright. All Rights Reserved. SuMPO

SuMPO環境ラベルプログラムまとめ

ISO14025・ISO/TS14067に準拠した環境情報開示プログラム

環境ラベルの特徴

- 国際規格のISO準拠
- ライフサイクル全体での環境負荷を定量的にの可視化
- 製品・サービスごとの共通算定ルールに基づく透明性の高い手法
- 第三者検証済みの信頼性高い情報

環境ラベルにできること

- サプライヤーへのデータ提供（toB）
- 消費者コミュニケーション（toC）
- 投資家向け情報開示
- 削減効果・努力のアピール
- ブランディング・差別化
- 認証制度連携（LEED・EPEAT）

©2022 Copyright. All Rights Reserved. SuMPO

宣言の例（CFP）

公開宣言一覧 ▶ https://ecoleaf-label.jp/declaration_list/index.php

表紙ページ

宣言の基本情報

カーボンフットプリント（CFP）
CFP宣言
登録番号： JR-BE-20002C

エコリーフ環境ラベルプログラム
一般社団法人サステナブル経営推進機構
東京都千代田区鍛冶町2-2-1
https://ecoleaf-label.jp

株式会社J-オイルミルズ
J-OIL MILLS , Inc.

「長調得徳」キャノーラ油　（業務用食用なたね油）
Cho Cho Toku Toku Canola Oil

算定単位
製品1個（18L缶）あたり

算定対象段階
■最終財　□中間財
原料調達段階、生産段階
流通段階、使用・維持管理段階
廃棄・リサイクル段階

製品の型式、主要仕様・諸元
製品容量：18L
製品種別：食用菜種油
型　式：16.5kg缶
外装サイズ：縦238×横238×高さ349(mm)
JANコードNo：4902590108820
総重量：17.7kg
https://www.j-oil.com/prosumer/oil/chochotokutoku.html

問い合わせ先
株式会社J-オイルミルズ
〒101-0044　東京都中央区明石町８－１　聖路加タワー
03-5148-7101

登録番号 JR-BE-20002C
適用PCR番号 PA-265300-BE-01
PCR名 食用植物油脂
公開日 2021年1月5日
検証合格日 2020年10月15日
検証方式 個品別検証方式
検証番号 JV-BE-20002
検証有効期間 2025年10月14日
PCRレビューの実施
認定日等 2020年9月24日
委員長 神崎　昌之
一般社団法人サステナブル経営推進機構
第三者検証者*
外部検証員　山田　朗
ISO/TS14067に従った本宣言及びデータの独立した検証
□内部　■外部
*システム認証を受けた事業体内の検証の場合は、システム認証を行った審査員の名前を記載。

登録番号： JR-BE-20002C

2ページ目以降

算定結果・条件等の詳細

カーボンフットプリント（CFP）
CFP宣言
登録番号： JR-BE-20002C

エコリーフ環境ラベルプログラム
一般社団法人サステナブル経営推進機構
東京都千代田区鍛冶町2-2-1
https://ecoleaf-label.jp

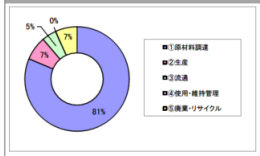
①CFP算定結果
算定単位： 製品1個（18L缶）あたり

項目		数値	単位
CFP算定結果		64	kg-CO_2eq
内訳	①原材料調達	52	kg-CO_2eq
	②生産	4.7	kg-CO_2eq
	③流通	2.9	kg-CO_2eq
	④使用・維持管理	0	kg-CO_2eq
	⑤廃棄・リサイクル	4.3	kg-CO_2eq
CFPマークへの表示		自社比-20%	
表示単位：		従来のキャノーラ油と比較した原の、モデル店舗における1年間の使用量あたりのCO2排出削減率	

※端数処理により、CFP算定結果と内訳の合計値は若干異なる場合があります。

③その他の環境関連情報

②算定結果に関する追加情報



<従来のキャノーラ油との比較>
本製品は従来のキャノーラ油（CFP宣言登録番号：JR-BE-20001C）に対して着色が進みにくい特徴を持っています。その特徴を踏まえ、モデル店舗における1年間の揚げ油使用量を従来のキャノーラ油と比較し、年間の油使用量に対するCO2排出量を算定しました。

<算定条件>

項目	評価対象	比較対象
製品名	「長調得徳」キャノーラ油	AJINOMOTO さらさら赤キャノーラ油
CO_2排出量の算定方法	食用植物油脂PCRの附属書Dに基づき算定した。 なお、食材調理時の油の加熱にかかる環境負荷は含まれていない。	
モデル店舗における1年間の揚げ油使用量の算定条件	取り扱う食材及びフライヤー容量の異なる一般外食店4店舗において揚げ油の使用に伴う色調の変化について調査を実施した。食用植物油脂PCRの附属書Dに従い、色調"L"の値が100になった時点で油を交換するものとし、4店舗における色調100になるまでの日数の平均値を基に、差し油を考慮した上でモデル店舗における1年間の揚げ油使用量を推計した。 <試験店舗の概要>	

揚げ物の種類	外食店A	外食店B	外食店C	外食店D
鶏の唐揚げ	✓	✓	✓	✓
天ぷら		✓	✓	✓
とんかつ・チキンカツ	✓		✓	
フライ・コロッケ	✓			✓
フライドポテト・素揚げ	✓	✓	✓	✓
フライヤー容量	25L×2	10L	15L×2	20L×2

色調が100になるまでの日数（4店舗平均）	13.9日	10.6日
1年間の揚げ油使用量	596.9L	743.0L
CO_2排出量（製品あたり）	63.8kg-CO_2eq	63.7kg-CO_2eq
CO_2排出量（モデル店舗における1年間の使用あたり）	2,116kg-CO_2eq/年	2,630kg-CO_2eq/年

※ロビボンド比色計により1 インチセルにて測定

「揚げ油の機能」の寿命については使用後の揚げ油の色調によって測定するものとし、色調の差異の比率（着色抑制率）を「揚げ油の機能」の寿命の差異とした。色調は4 店舗で実測し、その平均値を採用した。
「揚げ油の機能」の寿命は多様な使用条件の影響を受けて変わり得るため、可能な限り多様な使用条件下でのデータ取得を目指した。具体的には、調査対象とした４店舗について、取り扱う食材やフライヤー容量に一定の差が出るよう選択するなど工夫した。

追加情報（定性的情報）

カーボンフットプリント（CFP）
CFP宣言
登録番号： JR-BE-20002C

エコリーフ環境ラベルプログラム
一般社団法人サステナブル経営推進機構
東京都千代田区鍛冶町2-2-1
https://ecoleaf-label.jp

④CFP算定結果の解釈
○原材料調達段階におけるCO_2の排出が81%と最も多くなりました。その内の主な排出源は、原料である菜種の調達であることがわかりました。国内の植物油脂工場で使用される植物油脂原料農産物の96%は輸入原料※であることや製品の安定供給等を踏まえると、原料調達段階（栽培に伴う環境負荷等）の削減はもとより、長持ちする製品を開発することで製品使用量自体を削減することがCO_2排出量の削減に有効であると言えます。
○生産段階におけるCO_2排出量が7%となり、原材料調達段階の次に多くなりました。搾油や精製時に利用する蒸気や電気などのエネルギー使用が主な排出源であることがわかりました。また、廃棄・リサイクル段階におけるCO_2排出量も7%となりましたが、廃油処理についてはPCR11-4のシナリオに従い投入した全量を産業廃棄物として焼却処理することとして算定しています。実際には廃油回収事業者等により回収され、資源として再利用されることも少なくありません。
○CFP算定にあたり、エネルギー使用量等については当社データを利用していますが、菜種栽培時に投入される肥料の量などの原料生産データを収集することは困難であり、原料及び副資材製造時のデータは一般的な値を利用しています。そのため、当製品固有の特徴を反映していない場合があります。そのため、この結果は概算値としてご理解ください。
※油糧生産実績調査（平成31年（令和元年）穀物版、2019年原油生産量より）

⑤使用した二次データの考え方
IDEA　v2.1.3及び食用植物油脂PCRに記載されている二次データを使用した。

⑥備考
－

●データ算定の方法は、PCRおよび算定・宣言規程を参照してください。
●比較については、算定・宣言規程に規定された条件を満たした場合にしか認められません。
（参照先URL：https://ecoleaf-label.jp/regulation/）
●製品の提供により生じる気候変動以外のその他の潜在的な社会的／経済的／環境的影響の評価は行っていません。

登録番号： JR-BE-20002C

©2022 Copyright. All Rights Reserved. SuMPO

宣言の例（CFP）

■ 宣言の基本情報（表紙ページ）

算定単位

製品1個（18L缶）あたり

算定対象段階

■最終財　□中間財

原料調達段階、生産段階

流通段階、使用・維持管理段階

廃棄・リサイクル段階

カーボンフットプリント（CFP）
CFP宣言
登録番号：　JR-BE-20002C

エコリーフ環境ラベルプログラム
一般社団法人サステナブル経営推進機構
東京都千代田区鍛冶町2-2-1
https://ecoleaf-label.jp

株式会社J-オイルミルズ
J-OIL MILLS , Inc.

「長調得徳」キャノーラ油　（業務用食用なたね油）
Cho Cho Toku Toku Canola Oil

算定単位
製品1個（18L缶）あたり

算定対象段階
■最終財　□中間財
原料調達段階、生産段階
流通段階、使用・維持管理段階
廃棄・リサイクル段階

製品の型式、主要仕様・諸元

製品容量：18L
製品種別：食用菜種油
型　　式：16.5kg缶
外装サイズ：縦238×横238×高さ349(mm)
JANコードNo：4902590108820
総重量：17.7kg
https://www.j-oil.com/prosumer/oil/chochotokutoku.html

問い合わせ先
株式会社J-オイルミルズ
〒101-0044　東京都中央区明石町８－１　聖路加タワー
03-5148-7101

登録番号	JR-BE-20002C
適用PCR番号	PA-265300-BE-01
PCR名	食用植物油脂
公開日	2021年1月5日
検証合格日	2020年10月15日
検証方式	個品別検証方式
検証番号	JV-BE-20002
検証有効期間	2025年10月14日

PCRレビューの実施
認定日等 2020年9月24日
委員長 神崎　昌之
一般社団法人サステナブル経営推進機構

第三者検証者*
外部検証員　山田　朗
ISO/TS14067に従った本宣言及びデータの独立した検証
□内部　■外部

*システム認証を受けた事業体内の検証の場合は、システム認証を行った審査員の名前を記載。

登録番号：　JR-BE-20002C

適用PCR番号　PA-265300-BE-01

PCR名　食用植物油脂

第三者検証者*

外部検証員　山田　朗

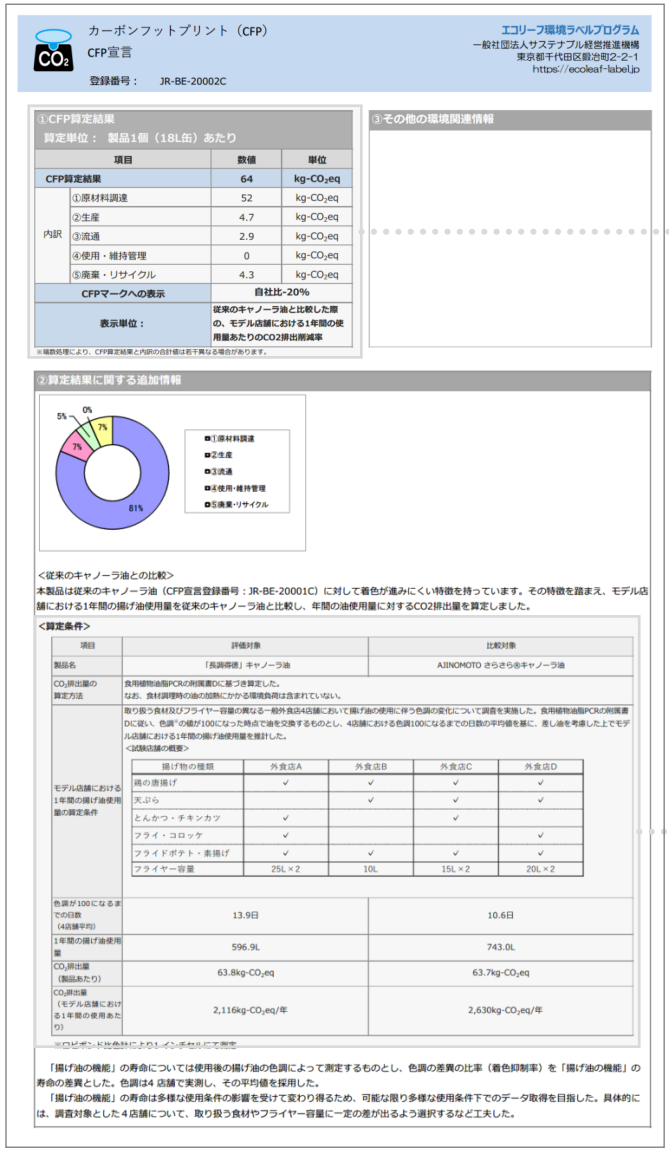
ISO/TS14067に従った本宣言及びデータの独立した検証

□内部　■外部

©2022 Copyright. All Rights Reserved. SuMPO

宣言の例（CFP）

■ 算定結果の詳細や、算定に関する追加情報（2ページ目以降）



カーボンフットプリント（CFP）
CFP宣言
登録番号： JR-BE-20002C

エコリーフ環境ラベルプログラム
一般社団法人サステナブル経営推進機構
東京都千代田区神田小川町2-2-1
https://ecoleaf-label.jp

①CFP算定結果
算定単位： 製品1個（18L缶）あたり

項目		数値	単位
CFP算定結果		64	kg-CO_2eq
内訳	①原材料調達	52	kg-CO_2eq
	②生産	4.7	kg-CO_2eq
	③流通	2.9	kg-CO_2eq
	④使用・維持管理	0	kg-CO_2eq
	⑤廃棄・リサイクル	4.3	kg-CO_2eq
CFPマークへの表示		自社比-20%	
表示単位：		従来のキャノーラ油と比較した際の、モデル店舗における1年間の使用量あたりのCO2排出削減率	

※端数処理により、CFP算定結果と内訳の合計値は若干異なる場合があります。

③その他の環境関連情報

②算定結果に関する追加情報

<従来のキャノーラ油との比較>
本製品は従来のキャノーラ油（CFP宣言登録番号：JR-BE-20001C）に対して着色が進みにくい特徴を持っています。その特徴を踏まえ、モデル店舗における1年間の揚げ油使用量を従来のキャノーラ油と比較し、年間の油使用量に対するCO2排出量を算定しました。

<算定条件>

項目	評価対象	比較対象
製品名	「長調得徳」キャノーラ油	AJINOMOTO さらさら®キャノーラ油
CO_2排出量の算定方法	食用植物油脂PCRの附属書Dに基づき算定した。 なお、食材調理時の油の加熱にかかる環境負荷は含まれていない。	
モデル店舗における1年間の揚げ油使用量の算定条件	取り扱う食材及びフライヤー容量の異なる一般外食店4店舗において揚げ油の使用に伴う色調の変化について調査を実施した。食用植物油脂PCRの附属書Dに従い、色調※の値が100になった時点で油を交換するものとし、4店舗における色調100になるまでの日数の平均値を基に、差し油を考慮した上でモデル店舗における1年間の揚げ油使用量を推計した。 <試験店舗の概要>	

揚げ物の種類	外食店A	外食店B	外食店C	外食店D
鶏の唐揚げ	✓	✓	✓	✓
天ぷら		✓	✓	✓
とんかつ・チキンカツ	✓		✓	
フライ・コロッケ	✓			✓
フライドポテト・素揚げ	✓	✓	✓	✓
フライヤー容量	25L×2	10L	15L×2	20L×2

色調が100になるまでの日数（4店舗平均）	13.9日	10.6日
1年間の揚げ油使用量	596.9L	743.0L
CO_2排出量（製品あたり）	63.8kg-CO_2eq	63.7kg-CO_2eq
CO_2排出量（モデル店舗における1年間の使用あたり）	2,116kg-CO_2eq/年	2,630kg-CO_2eq/年

※ロビボンド比色計により1インチセルにて測定

「揚げ油の機能」の寿命については使用後の揚げ油の色調によって測定するものとし、色調の差異の比率（着色抑制率）を「揚げ油の機能」の寿命の差異とした。色調は4 店舗で実測し、その平均値を採用した。
「揚げ油の機能」の寿命は多様な使用条件の影響を受けて変わり得るため、可能な限り多様な使用条件下でのデータ取得を目指した。具体的には、調査対象とした4店舗について、取り扱う食材やフライヤー容量に一定の差が出るよう選択するなど工夫した。

①CFP算定結果
算定単位： 製品1個（18L缶）あたり

項目		数値	単位
CFP算定結果		64	kg-CO_2eq
内訳	①原材料調達	52	kg-CO_2eq
	②生産	4.7	kg-CO_2eq
	③流通	2.9	kg-CO_2eq
	④使用・維持管理	0	kg-CO_2eq
	⑤廃棄・リサイクル	4.3	kg-CO_2eq
CFPマークへの表示		自社比-20%	
表示単位：		従来のキャノーラ油と比較した際の、モデル店舗における1年間の使用量あたりのCO2排出削減率	

※端数処理により、CFP算定結果と内訳の合計値は若干異なる場合があります。

<算定条件>

項目	評価対象	比較対象
製品名	「長調得徳」キャノーラ油	AJINOMOTO さらさら®キャノーラ油
CO_2排出量の算定方法	食用植物油脂PCRの附属書Dに基づき算定した。 なお、食材調理時の油の加熱にかかる環境負荷は含まれていない。	
モデル店舗における1年間の揚げ油使用量の算定条件	取り扱う食材及びフライヤー容量の異なる一般外食店4店舗において揚げ油の使用に伴う色調の変化について調査を実施した。食用植物油脂PCRの附属書Dに従い、色調※の値が100になった時点で油を交換するものとし、4店舗における色調100になるまでの日数の平均値を基に、差し油を考慮した上でモデル店舗における1年間の揚げ油使用量を推計した。 <試験店舗の概要>	

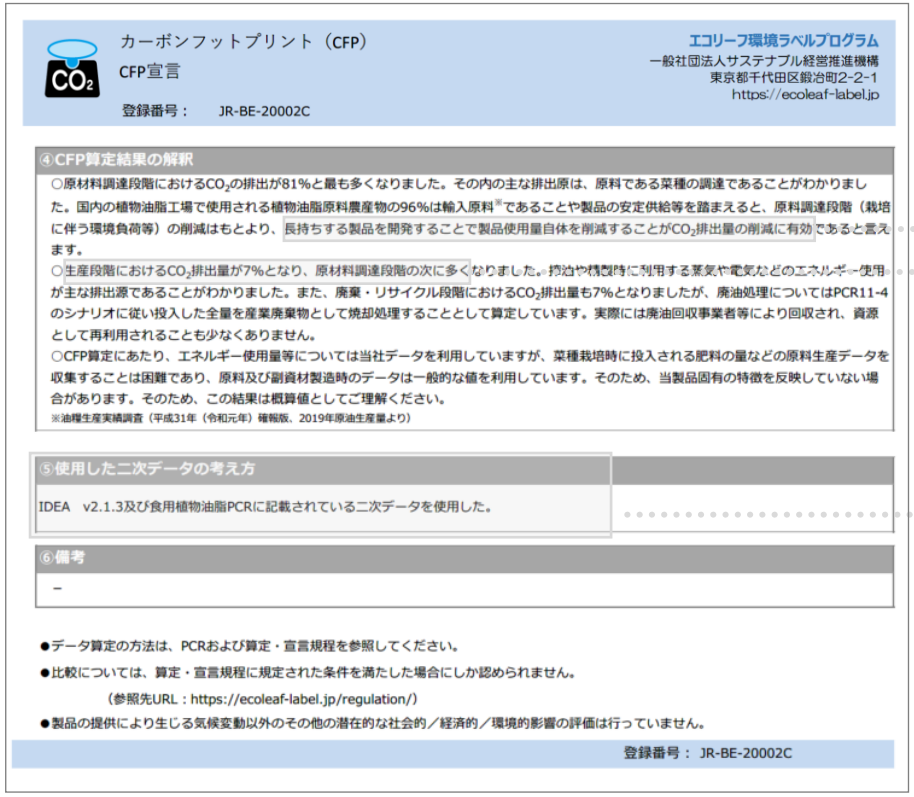
揚げ物の種類	外食店A	外食店B	外食店C	外食店D
鶏の唐揚げ	✓	✓	✓	✓
天ぷら		✓	✓	✓
とんかつ・チキンカツ	✓		✓	
フライ・コロッケ	✓			✓
フライドポテト・素揚げ	✓	✓	✓	✓
フライヤー容量	25L×2	10L	15L×2	20L×2

色調が100になるまでの日数（4店舗平均）	13.9日	10.6日
1年間の揚げ油使用量	596.9L	743.0L
CO_2排出量（製品あたり）	63.8kg-CO_2eq	63.7kg-CO_2eq
CO_2排出量（モデル店舗における1年間の使用あたり）	2,116kg-CO_2eq/年	2,630kg-CO_2eq/年

©2022 Copyright. All Rights Reserved. SuMPO

宣言の例（CFP）

■ 結果の解釈等の定性的情報（2ページ目以降）



カーボンフットプリント（CFP）
CFP宣言
登録番号： JR-BE-20002C

エコリーフ環境ラベルプログラム
一般社団法人サステナブル経営推進機構
東京都千代田区鍛冶町2-2-1
https://ecoleaf-label.jp

④CFP算定結果の解釈

○原材料調達段階におけるCO_2の排出が81%と最も多くなりました。その内の主な排出原は、原料である菜種の調達であることがわかりました。国内の植物油脂工場で使用される植物油脂原料農産物の96%は輸入原料※であることや製品の安定供給等を踏まえると、原料調達段階（栽培に伴う環境負荷等）の削減はもとより、長持ちする製品を開発することで製品使用量自体を削減することがCO_2排出量の削減に有効であると言えます。

○生産段階におけるCO_2排出量が7%となり、原材料調達段階の次に多くなりました。搾油や精製時に利用する蒸気や電気などのエネルギー使用が主な排出源であることがわかりました。また、廃棄・リサイクル段階におけるCO_2排出量も7%となりましたが、廃油処理についてはPCR11-4のシナリオに従い投入した全量を産業廃棄物として焼却処理することとして算定しています。実際には廃油回収事業者等により回収され、資源として再利用されることも少なくありません。

○CFP算定にあたり、エネルギー使用量等については当社データを利用していますが、菜種栽培時に投入される肥料の量などの原料生産データを収集することは困難であり、原料及び副資材製造時のデータは一般的な値を利用しています。そのため、当製品固有の特徴を反映していない場合があります。そのため、この結果は概算値としてご理解ください。

※油糧生産実績調査（平成31年（令和元年）確報版、2019年原油生産量より）

⑤使用した二次データの考え方

IDEA　v2.1.3及び食用植物油脂PCRに記載されている二次データを使用した。

⑥備考

－

●データ算定の方法は、PCRおよび算定・宣言規程を参照してください。
●比較については、算定・宣言規程に規定された条件を満たした場合にしか認められません。
（参照先URL：https://ecoleaf-label.jp/regulation/）
●製品の提供により生じる気候変動以外のその他の潜在的な社会的／経済的／環境的影響の評価は行っていません。

登録番号： JR-BE-20002C

長持ちする製品を開発することで製品使用量自体を削減することがCO_2排出量の削減に有効

生産段階におけるCO_2排出量が7%となり、原材料調達段階の次に多く

⑤使用した二次データの考え方

IDEA　v2.1.3及び食用植物油脂PCRに記載されている二次データを使用した。

公開宣言一覧 ▶ https://ecoleaf-label.jp/declaration_list/index.php

©2022 Copyright. All Rights Reserved. SuMPO

宣言の例（エコリーフ）

公開宣言一覧 ▶ https://ecoleaf-label.jp/declaration_list/index.php

表紙ページ　　　　　　　　　2ページ目以降

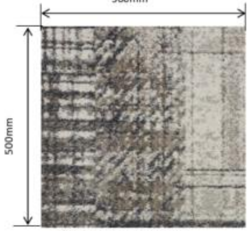
宣言の基本情報	算定結果・算定条件等の詳細	追加情報

エコリーフ
タイプⅢ環境宣言 (EPD)
登録番号： JR-AN-21021E

エコリーフ環境ラベルプログラム
一般社団法人サステナブル経営推進機構
東京都千代田区鍛冶町2-2-1
https://ecoleaf-label.jp

株式会社川島織物セルコン
KAWASHIMA SELKON TEXTILES CO.,LTD.

タイルカーペット　モードスタイル-9
Tile Carpet　MODE STYLE-9



コペンハーゲンツイード

算定単位

1枚あたり

算定対象段階

■最終財　□中間財

製造段階、建設段階、廃棄・リサイクル段階

製品の型式、主要仕様・諸元

登録製品名称	タイルカーペット モードスタイル-9
製品の型式	コペンハーゲンツイード
製品質量	1.46±0.2kg/枚
総厚み	9.0±0.5mm
サイズ	500mm×500mm
素材名	パイル：再生ナイロン（econyl） バッキング：再生PVCリファインシート 基布：ポリエステル
企業名	株式会社川島織物セルコン
主要な製造サイト名	山本産業株式会社
想定試用期間	約7年（使用状況により異なる）

問い合わせ先

商品開発部フロアカバリング開発グループ
TEL 06-6369-6088 FAX 06-6369-6228

登録番号	JR-AN-21021E
適用PCR番号	PA-821000-AN-02
PCR名	タイルカーペット
公開日	2022年1月11日
検証合格日	2021年11月29日
検証方式	個品別検証方式
検証番号	JV-AN-21021
検証有効期間	2026年11月28日
PCRレビューの実施	
認定日等	2019年 10月 1日
委員長	神崎 昌之 （一般社団法人産業環境管理協会）
第三者検証者*	
外部検証員	渕上　智子

ISO14025およびISO21930に従った本宣言及びデータの独立した検証

□内部　■外部

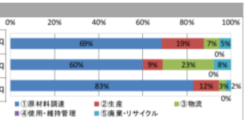
*システム認証を受けた事業体内の検証の場合は、システム認証を行った審査員の名前を記載。

登録番号： JR-AN-21021E

エコリーフ
タイプⅢ環境宣言 (EPD)
登録番号： JR-AN-21021E
エコリーフ環境ラベルプログラム
一般社団法人サステナブル経営推進機構
東京都千代田区鍛冶町2-2-1
https://ecoleaf-label.jp

①ライフサイクル影響評価結果

気候変動 IPCC 2013 GWP 100a	2.5	kg-CO2eq
酸性化	2.3	g-SO2eq
資源消費	0.024	g-Sbeq



内訳 / 項目	単位	合計	①原材料調達	②生産	③物流	④使用・維持管理	⑤廃棄・リサイクル
気候変動 IPCC 2013 GWP 100a	kg-CO_2eq	2.5E+00	1.7E+00	4.8E-01	1.8E-01	0.0E+00	1.3E-01
オゾン層破壊	kg-CFC-11eq	1.6E-07	1.6E-07	8.2E-09	1.4E-12	0.0E+00	1.6E-10
酸性化	kg-SO_2eq	2.3E-03	1.4E-03	2.1E-04	5.4E-04	0.0E+00	1.8E-04
都市域大気汚染	kg-SO_2eq	1.3E-03	9.4E-04	1.0E-04	2.0E-04	0.0E+00	1.0E-04
光化学オキシダント	kg-C_2H_4eq	2.1E-05	1.1E-05	8.3E-06	1.0E-06	0.0E+00	1.3E-06
有害化学物質(発がん性)	kg-C_6H_6eq	3.9E-06	2.0E-06	1.8E-06	5.7E-11	0.0E+00	1.5E-07
有害化学物質(慢性)	kg-C_6H_6eq	5.6E-07	2.7E-07	2.7E-07	8.4E-12	0.0E+00	2.1E-08
水生生態毒性	kg-C_6H_6eq	8.6E-04	4.1E-04	4.1E-04	1.3E-08	0.0E+00	3.2E-05
陸生生態毒性	kg-C6H6eq	2.1E-02	1.0E-02	1.0E-02	3.1E-07	0.0E+00	7.9E-04
富栄養化	kg-PO_4^{3-}eq	3.5E-05	3.4E-07	2.8E-05	1.2E-15	0.0E+00	6.6E-06
土地利用(維持)	m^2/年	8.4E-01	7.9E-01	3.9E-02	1.4E-02	0.0E+00	2.8E-03
土地利用(改変)	m^2	1.2E-03	8.4E-04	4.7E-05	2.9E-04	0.0E+00	5.6E-05
資源消費	kg-Sbeq	2.4E-05	2.0E-05	2.7E-06	7.4E-07	0.0E+00	5.5E-07

②ライフサイクルインベントリ分析関連情報

項目		単位
非再生可能資源	5.8E-01	kg
非再生可能エネルギー	9.0E-01	kg
非再生可能エネルギー	3.9E+01	MJ
再生可能資源	1.3E+00	kg
再生可能エネルギー	1.1E+01	MJ
淡水の消費	6.0E-03	m3
排出, CO2; 化石資源由来, 大気, 不特定	2.4E+00	kg
資源, 原油, 44.7MJ/kg, 陸域, 非再生可能エネルギー	5.2E-01	kg
排出, 揮発性有機化合物, 大気, 不特定	1.3E-10	kg

③材料及び物質に関する構成成分

項目		単位
再生ナイロン（econyl）	14	%
基布(ポリエステル)	2	%
PVC	8	%
可塑剤	6	%
炭酸カルシウム	23	%
生石灰	1	%
ガラス不織布	1	%
再生塩ビ	43	%
包装材	2	%

④廃棄物関連情報

項目		単位
有害廃棄物	－	kg
無害廃棄物	1.3E+00	kg

※ライフサイクルにおける廃棄物量を示しています。

エコリーフ
タイプⅢ環境宣言 (EPD)
登録番号： JR-AN-21021E
エコリーフ環境ラベルプログラム
一般社団法人サステナブル経営推進機構
東京都千代田区鍛冶町2-2-1
https://ecoleaf-label.jp

⑤算定結果に関する追加情報

■輸送シナリオはPCRに従って算定した。
■使用段階は算定に含まれていない。

■直接影響による温室効果ガス（CO_2等）の削減効果：　68%
①タイルカーペット　モードスタイル-9の直接影響　2.5E+00　kg-CO2eq
②バージンプラスチック素材のタイルカーペット（柄：ミラノツイード）の直接影響　7.9E+00　kg-CO2eq
※②の登録番号：JR-AN-21015E
※本製品と比較対象製品のバージンプラスチック素材のタイルカーペット（柄：ミラノツイード）は型式が異なるが、パイル重量等の各成分量はそれぞれ多少異なるものの、タイルカーペットの機能としては全て同じ内装仕上げ材であり、構造も同一であり、ラインナップの中で出荷量も多いため比較対象として選定している。

内訳 / 項目	単位	合計①	合計②
気候変動 IPCC 2013 GWP 100a	kg-CO_2eq	2.5E+00	7.9E+00
オゾン層破壊	kg-CFC-11eq	1.6E-07	3.6E-07
酸性化	kg-SO_2eq	2.3E-03	4.5E-03
都市域大気汚染	kg-SO_2eq	1.3E-03	3.1E-03
光化学オキシダント	kg-C_2H_4eq	2.1E-05	2.8E-05
有害化学物質(発がん性)	kg-C_6H_6eq	3.9E-06	4.0E-06
有害化学物質(慢性)	kg-C_6H_6eq	5.6E-07	5.6E-07
水生生態毒性	kg-C_6H_6eq	8.6E-04	8.6E-04
陸生生態毒性	kg-C6H6eq	2.1E-02	2.1E-02
富栄養化	kg-PO_4^{3-}eq	3.5E-05	7.8E-06
土地利用(維持)	m^2/年	8.4E-01	6.0E-02
土地利用(改変)	m^2	1.2E-03	1.9E-03
資源消費	kg-Sbeq	2.4E-05	4.2E-05

■本製品は、表面のパイル部分にリサイクルナイロンであるECONYL®を、バッキング部分にはリサイクルバッキングである再生塩ビを採用することにより、温室効果ガス（CO_2等）排出を抑えた製品製造を実現した。この特徴を踏まえ、バージンのプラスチック素材を使ったタイルカーペット（②、パイル部分：ナイロン6,6、バッキング部分：バージン塩ビ／登録番号：JR-AN-21015E）と比較した場合の、温室効果ガス（CO2等）の排出削減効果を算定した。
■直接影響は、製品の各ライフサイクル（製造段階、建設段階、廃棄・リサイクル段階）全体における環境負荷として算出した。

■間接影響による温室効果ガス（CO_2等）の削減効果：
・タイルカーペット　モードスタイル-9のライフサイクル段階（直接影響）　2.5E+00　kg-CO2eq
・タイルカーペット　モードスタイル-9のライフサイクル段階（間接影響）　-8.1E-01　kg-CO2eq

内訳 / 項目	単位	直接影響	間接影響
気候変動 IPCC 2013 GWP 100a	kg-CO_2eq	2.5E+00	-8.1E-01
オゾン層破壊	kg-CFC-11eq	1.6E-07	-1.7E-07
酸性化	kg-SO_2eq	2.3E-03	-8.8E-04
都市域大気汚染	kg-SO_2eq	1.3E-03	-6.5E-04
光化学オキシダント	kg-C_2H_4eq	2.1E-05	-4.5E-06
有害化学物質(発がん性)	kg-C_6H_6eq	3.9E-06	-8.6E-07
有害化学物質(慢性)	kg-C_6H_6eq	5.6E-07	-1.2E-07
水生生態毒性	kg-C_6H_6eq	8.6E-04	-1.9E-04
陸生生態毒性	kg-C6H6eq	2.1E-02	-4.5E-03
富栄養化	kg-PO_4^{3-}eq	3.5E-05	-4.9E-06
土地利用(維持)	m^2/年	8.4E-01	-4.0E-03
土地利用(改変)	m^2	1.2E-03	-1.3E-04
資源消費	kg-Sbeq	2.4E-05	-1.5E-05

■間接影響は、原材料調達の際に、パイル部分にはリサイクルナイロンであるECONYL®、およびバッキング部分には使用済みタイルカーペットのリサイクル循環システムにより再資源化したリサイクルバッキングを使用することで、産業廃棄物処理（埋立）を回避することへの効果、および次の新たな製品製造の際に使用する原材料の環境負荷を回避する効果として算出した。なおリサイクルバッキングは次の新たなタイルカーペットのバッキングとして、またパイル部分は製鉄用の添加剤（フォーミング抑制剤）としてリサイクルされる。

エコリーフ
タイプⅢ環境宣言 (EPD)
登録番号： JR-AN-21021E
エコリーフ環境ラベルプログラム
一般社団法人サステナブル経営推進機構
東京都千代田区鍛冶町2-2-1
https://ecoleaf-label.jp

⑥-1.その他の環境関連情報

・エコマーク認定商品（認定番号：13 123 001）
・グリーン購入法適合品

⑥-2.有害物質に関する情報

項目	CAS No.	法令等

⑦使用した二次データの考え方

IDEA v2.1.3 および エコリーフ環境ラベルプログラム登録データv1.10のECONYL ®（リサイクルナイロン）を使用した。

⑧備考

－

●データ算定の方法は、PCRおよび算定・宣言規程を参照してください。□
●比較については、算定・宣言規程に規定された条件を満たした場合にしか認められません。□
（参照先URL：https://ecoleaf-label.jp/regulation/）

登録番号： JR-AN-21021E

©2022 Copyright. All Rights Reserved. SuMPO

宣言の例（エコリーフ）

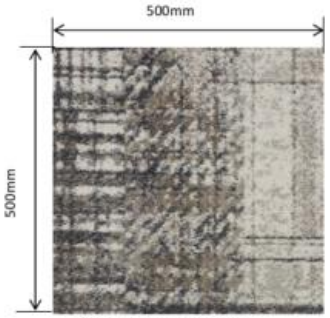
■ 宣言の基本情報（表紙ページ）

エコリーフ
タイプⅢ環境宣言 (EPD)
登録番号： JR-AN-21021E

エコリーフ環境ラベルプログラム
一般社団法人サステナブル経営推進機構
東京都千代田区鍛冶町2-2-1
https://ecoleaf-label.jp

株式会社川島織物セルコン
KAWASHIMA SELKON TEXTILES CO.,LTD.

タイルカーペット モードスタイル-9
Tile Carpet MODE STYLE-9



コペンハーゲンツイード

算定単位
1枚あたり

算定対象段階
■最終財 □中間財
製造段階、建設段階、廃棄・リサイクル段階

登録番号	JR-AN-21021E
適用PCR番号	PA-821000-AN-02
PCR名	タイルカーペット
公開日	2022年1月11日
検証合格日	2021年11月29日
検証方式	個品別検証方式
検証番号	JV-AN-21021
検証有効期間	2026年11月28日

PCRレビューの実施
認定日等 2019年 10月 1日
委員長 神崎 昌之
（一般社団法人産業環境管理協会）

第三者検証者*
外部検証員 渕上 智子
ISO14025およびISO21930に従った本宣言及びデータの独立した検証
□内部 ■外部

*システム認証を受けた事業体内の検証の場合は、システム認証を行った審査員の名前を記載。

製品の型式、主要仕様・諸元

登録製品名称	タイルカーペット モードスタイル-9
製品の型式	コペンハーゲンツイード
製品質量	1.46±0.2kg/枚
総厚み	9.0±0.5mm
サイズ	500mm×500mm
素材名	パイル：再生ナイロン（econyl） バッキング：再生PVCリファインシート 基布：ポリエステル
企業名	株式会社川島織物セルコン
主要な製造サイト名	山本産業株式会社
想定試用期間	約７年（使用状況により異なる）

問い合わせ先
商品開発部フロアカバリング開発グループ
TEL 06-6369-6088 FAX 06-6369-6228

登録番号： JR-AN-21021E

算定単位
1枚あたり

算定対象段階
■最終財 □中間財
製造段階、建設段階、廃棄・リサイクル段階

適用PCR番号	PA-821000-AN-02
PCR名	タイルカーペット

第三者検証者*
外部検証員 渕上 智子
ISO14025およびISO21930に従った本宣言及びデータの独立した検証
□内部 ■外部

©2022 Copyright. All Rights Reserved. SuMPO

宣言の例（エコリーフ）

■ 算定結果の詳細や、算定に関する追加情報（2ページ目以降）

内訳 ＼ 項目	単位	合計	①原材料調達	②生産	③物流	④使用・維持管理	⑤廃棄・リサイクル
気候変動 IPCC 2013 GWP 100a	kg-CO_2eq	2.5E+00	1.7E+00	4.8E-01	1.8E-01	0.0E+00	1.3E-01
オゾン層破壊	kg-CFC-11eq	1.6E-07	1.6E-07	8.2E-09	1.4E-12	0.0E+00	1.6E-10
酸性化	kg-SO_2eq	2.3E-03	1.4E-03	2.1E-04	5.4E-04	0.0E+00	1.8E-04
都市域大気汚染	kg-SO_2eq	1.3E-03	9.4E-04	1.0E-04	2.0E-04	0.0E+00	1.0E-04
光化学オキシダント	kg-C_2H_4eq	2.1E-05	1.1E-05	8.3E-06	1.0E-06	0.0E+00	1.3E-06
有害化学物質(発がん性)	kg-C_6H_6eq	3.9E-06	2.0E-06	1.8E-06	5.7E-11	0.0E+00	1.5E-07
有害化学物質(慢性)	kg-C_6H_6eq	5.6E-07	2.7E-07	2.7E-07	8.4E-12	0.0E+00	2.1E-08
水生生態毒性	kg-C_6H_6eq	8.6E-04	4.1E-04	4.1E-04	1.3E-08	0.0E+00	3.2E-05
陸生生態毒性	kg-C6H6eq	2.1E-02	1.0E-02	1.0E-02	3.1E-07	0.0E+00	7.9E-04
富栄養化	kg-PO_4^{3-}eq	3.5E-05	3.4E-07	2.8E-05	1.2E-15	0.0E+00	6.6E-06
土地利用(維持)	m^2/年	8.4E-01	7.9E-01	3.9E-02	1.4E-02	0.0E+00	2.8E-03
土地利用(改変)	m^2	1.2E-03	8.4E-04	4.7E-05	2.9E-04	0.0E+00	5.6E-05
資源消費	kg-Sbeq	2.4E-05	2.0E-05	2.7E-06	7.4E-07	0.0E+00	5.5E-07

エコリーフ
タイプⅢ環境宣言 (EPD)
エコリーフ環境ラベルプログラム
一般社団法人サステナブル経営推進機構
東京都千代田区鍛冶町2-2-1

②ライフサイクルインベントリ分析関連情報

項目		単位
非再生可能資源	5.8E-01	kg
非再生可能エネルギー	9.0E-01	kg
非再生可能エネルギー	3.9E+01	MJ
再生可能資源	1.3E+00	kg
再生可能エネルギー	1.1E+01	MJ
淡水の消費	6.0E-03	m3
排出, CO2; 化石資源由来, 大気, 不特定	2.4E+00	kg
資源, 原油, 44.7MJ/kg, 陸域, 非再生可能エネルギー	5.2E-01	kg
排出, 揮発性有機化合物, 大気, 不特定	1.3E-10	kg

③材料及び物質に関する構成成分

項目		単位
再生ナイロン（econyl）	14	%
基布(ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ)	2	%
PVC	8	%
可塑剤	6	%
炭酸ｶﾙｼｳﾑ	23	%
生石灰	1	%
ｶﾞﾗｽ不織布	1	%
再生塩ビ	43	%
包装材	2	%

④廃棄物関連情報

項目		単位
有害廃棄物	−	kg
無害廃棄物	1.3E+00	kg

※ライフサイクルにおける廃棄物量を示しています。

エコリーフ
タイプⅢ環境宣言 (EPD)
登録番号： JR-AN-21021E
エコリーフ環境ラベルプログラム
一般社団法人サステナブル経営推進機構
東京都千代田区鍛冶町2-2-1
https://ecoleaf-label.jp

⑤算定結果に関する追加情報

■輸送シナリオはPCRに従って算定した。
■使用段階は算定に含まれていない。

■直接影響による温室効果ガス（CO_2等）の削減効果： 68%
①タイルカーペット　モードスタイル-9の直接影響 2.5E+00 kg-CO2eq
②バージンプラスチック素材のタイルカーペット（柄：ミラノツイード）の直接影響 7.9E+00 kg-CO2eq
※②の登録番号：JR-AN-21015E
※本製品と比較対象製品のバージンプラスチック素材のタイルカーペット（柄：ミラノツイード）は型式が異なるが、パイル重量等の各成分量はそれぞれ多少異なるものの、タイルカーペットの機能としては全て同じ内装仕上げ材であり、構造も同一であり、ラインナップの中で出荷量も多いため比較対象として選定している。

内訳 ＼ 項目	単位	合計①	合計②
気候変動 IPCC 2013 GWP 100a	kg-CO_2eq	2.5E+00	7.9E+00
オゾン層破壊	kg-CFC-11eq	1.6E-07	3.6E-07
酸性化	kg-SO_2eq	2.3E-03	4.5E-03
都市域大気汚染	kg-SO_2eq	1.3E-03	3.1E-03
光化学オキシダント	kg-C_2H_4eq	2.1E-05	2.8E-05
有害化学物質(発がん性)	kg-C_6H_6eq	3.9E-06	4.0E-06
有害化学物質(慢性)	kg-C_6H_6eq	5.6E-07	5.6E-07
水生生態毒性	kg-C_6H_6eq	8.6E-04	8.6E-04
陸生生態毒性	kg-C6H6eq	2.1E-02	2.1E-02
富栄養化	kg-PO_4^{3-}eq	3.5E-05	7.8E-06
土地利用(維持)	m^2/年	8.4E-01	6.0E-02
土地利用(改変)	m^2	1.2E-03	1.9E-03
資源消費	kg-Sbeq	2.4E-05	4.2E-05

■本製品は、表面のパイル部分にリサイクルナイロンであるECONYL®を、バッキング部分にはリサイクルバッキングである再生塩ビを採用することにより、温室効果ガス（CO_2等）排出を抑えた製品製造を実現した。この特徴を踏まえ、バージンのプラスチック素材を使ったタイルカーペット（②、パイル部分：ナイロン6,6、バッキング部分：バージン塩ビ／登録番号：JR-AN-21015E）と比較した場合の、温室効果ガス（CO2等）の排出削減効果を算定した。
■直接影響は、製品の各ライフサイクル（製造段階、建設段階、廃棄・リサイクル段階）全体における環境負荷として算出した。

■間接影響による温室効果ガス（CO_2等）の削減効果：
・タイルカーペット　モードスタイル-9のライフサイクル段階（直接影響） 2.5E+00 kg-CO2eq
・タイルカーペット　モードスタイル-9のライフサイクル段階（間接影響） -8.1E-01 kg-CO2eq

内訳 ＼ 項目	単位	直接影響	間接影響
気候変動 IPCC 2013 GWP 100a	kg-CO_2eq	2.5E+00	-8.1E-01
オゾン層破壊	kg-CFC-11eq	1.6E-07	-1.7E-07
酸性化	kg-SO_2eq	2.3E-03	-8.8E-04
都市域大気汚染	kg-SO_2eq	1.3E-03	-6.5E-04
光化学オキシダント	kg-C_2H_4eq	2.1E-05	-4.5E-06
有害化学物質(発がん性)	kg-C_6H_6eq	3.9E-06	-8.6E-07
有害化学物質(慢性)	kg-C_6H_6eq	5.6E-07	-1.2E-07
水生生態毒性	kg-C_6H_6eq	8.6E-04	-1.9E-04
陸生生態毒性	kg-C6H6eq	2.1E-02	-4.5E-03
富栄養化	kg-PO_4^{3-}eq	3.5E-05	-4.9E-06
土地利用(維持)	m^2/年	8.4E-01	-4.0E-03
土地利用(改変)	m^2	1.2E-03	-1.3E-04
資源消費	kg-Sbeq	2.4E-05	-1.5E-05

■間接影響は、原材料調達の際に、パイル部分にはリサイクルナイロンであるECONYL®、およびバッキング部分には使用済みタイルカーペットのリサイクル循環システムにより再資源化したリサイクルバッキングを使用することで、産業廃棄物処理（埋立）を回避することへの効果、および次の新たな製品製造の際に使用する原材料の環境負荷を回避する効果として算出した。なおリサイクルバッキングは次の新たなタイルカーペットのバッキングとして、またパイル部分は製鉄用の添加剤（フォーミング抑制剤）としてリサイクルされる。

©2022 Copyright. All Rights Reserved. SuMPO

宣言の例（エコリーフ）

■ 追加情報（2ページ目以降）

エコリーフ
タイプⅢ環境宣言 (EPD)
登録番号： JR-AN-21021E

エコリーフ環境ラベルプログラム
一般社団法人サステナブル経営推進機構
東京都千代田区霞治町2-2-1
https://ecoleaf-label.jp

⑥-1.その他の環境関連情報
・エコマーク認定商品（認定番号：13 123 001）
・グリーン購入法適合品

⑥-2.有害物質に関する情報

項目	CAS No.	法令等

⑦使用した二次データの考え方
IDEA v2.1.3 および エコリーフ環境ラベルプログラム登録データv1.10のECONYL ®（リサイクルナイロン）を使用した。

⑧備考
–

●データ算定の方法は、PCRおよび算定・宣言規程を参照してください。□
●比較については、算定・宣言規程に規定された条件を満たした場合にしか認められません。□
（参照先URL：https://ecoleaf-label.jp/regulation/）

登録番号： JR-AN-21021E

⑥-1.その他の環境関連情報
・エコマーク認定商品（認定番号：13 123 001）
・グリーン購入法適合品

公開宣言一覧 ▶ https://ecoleaf-label.jp/declaration_list/index.php

©2022 Copyright. All Rights Reserved. SuMPO

心豊かな未来をSuMPOの業（さんぽ　わざ）で創ります

SuMPO

Sustainable Management Promotion Organization

一般社団法人サステナブル経営推進機構

〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町2-2-1

三井住友銀行神田駅前ビル

ホームページ　https://sumpo.or.jp

©2022 Copyright. All Rights Reserved. SuMPO